

2017年新春旗開き

不当なボーナスカットゼロ、勝ち取った大きな成果を確認！

1月8日大井町中小企業センターにおいて、新幹線地本2017年新春旗開きを開催しました。

挨拶に立った成田委員長は「昨1年間の闘いの最大の成果は、不当なボーナスカットゼロを勝ち取ったことである。結成以降毎回繰り返されてきた攻撃だが、新幹線地本のみならず東海労組織全体で闘い続けてきた成果だ。



今年は国鉄改革から30年という節目の年だが、会社はリニア建設の財源確保のためさらなる攻撃をかけてくるであろう。すでに昨年末、新幹線乗務員の乗組基準変更という大幅要員削減を提案してきた。労働強化・賃金抑制を許さない闘いを職場から、他労組・関連会社の労働者にも働きかけながら強化していこう。」と、力強く訴えました。

早く便利であれば本当に幸せか？スピード化による功罪で生活は苦しくなっている！



また、リニア・市民ネットの代表を務めている慶応大学名誉教授の川村晃生氏から、「文明論からリニアを考える」と題した講演を受け、「より早く便利であればより幸せだと本当に感じられるのか？スピード化によって仕事も生活もますます苦しくなっている」という観点から、リニア中央新幹線の問題点が丁寧にあきらかにされました。

強引に押し進められるリニア中央新幹線建設、我々社員のみならず関連会社の労働者へのしわ寄せを許さない闘いを、声を大にして訴えていきましょう！